

シ得ヘキ含鹽礦物ニ在リテハ取締ノ必要アリ法第三條ニ於テ智利硝石、「カイニツト」、「シルヴィニツト」、「ポリハリツト」、「キーゼリツト」、「カルナリツト」、「ハルトザルツ」其ノ他百分中四十以上ノ鹽化曹達ヲ含有スルモノハ變性ヲ施スニ非サレハ輸入シ又ハ移入シ得サルコトトシ輸移入規則アリ

含鹽礦物輸移入規則 明治三十九年三月 省令第十三號

(鹽專賣史八四七頁參看)

含鹽礦物ヲ輸移入スルニハ含有鹽化曹達量ヲ檢定スルヲ以テ其ノ試驗方法ヲ定ム

含鹽礦物檢定手續 明治三十九年三月 訓令第八號

(鹽專賣史八七六頁參看)

明治四十年十月官制改正ニ當リ右省令中鹽務局トアルハ專賣局收納所ト解釋スルコトニ省議ヲ決定シ同四十二年四月ニハ專賣局收納所ヲ廢シ專賣支局ニ改メ大正十一年七月ニハ專賣支局ヲ地方專賣局ト改稱スルニ至リ省令ノ改正ヲ可トシ左ノ改正ヲ爲シタリ

大藏省令第四十九號(抄録)(大正十一年七月二十日)

右ノ省令中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス(抄録)

明治三十九年大藏省令第十三號含鹽礦物輸移入規則中「鹽務局」ヲ「地方專賣局」ニ改ム

現行含鹽礦物輸移入規則左ノ如シ

含鹽礦物輸移入規則 明治三十九年三月 省令第十三號

第一條 鹽專賣法第三條第二項ニ掲ケタル礦物ヲ輸入シタル者アル場合ニ於テ稅關カ其ノ礦物百分中四十以上ノ鹽化曹達ヲ含有スルモノナリト檢定シタルトキハ輸入者ハ稅關ノ指揮監督ニ從ヒ其ノ礦物ノ變性ヲ施スヘシ

前項輸入礦物ノ變性ハ其ノ礦物ノ重量百ニ對シ智利硝石ニ付テハ百分中五以下ノ鹽化曹達ヲ含有スル智利硝石六十、「カイニツト」シルヴィニツト、「ポリハリツト」、「キーゼリツト」、「カルナリツト」、「ハルトザルツ」其ノ他ノ礦物ニ付テハ百分中五以下ノ鹽化曹達ヲ含有スル智利硝石「カイニツト」、「シルヴィニツト」、「ポリハリツト」、「キーゼリツト」、「カルナリツト」、「ハルトザルツ」若ハ其ノ他ノ礦物六十ヲ混和シテ之ヲ爲スモノトス

第二條 鹽專賣法第三條第二項ニ掲ケタル礦物ヲ鹽專賣法ヲ施行セサル地ヨリ移入シタル者ハ直ニ移入地所轄ノ地方專賣局ヘ其ノ品名、用途、數量、仕入地名及積載船舶名ヲ記載シタル移入申告書ヲ提出スヘシ

第三條 前條ノ移入申告アリタル場合ニ於テ地方專賣局カ其ノ礦物百分中四十以上ノ鹽化曹達ヲ含有スルモノナリト檢定シタルトキハ移入者ハ第一條ニ準シ地方專賣局ノ指揮監督ニ從ヒ其ノ礦物ノ變性ヲ施スヘシ

附則

本命令ハ明治三十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五章 鹽ノ再製加工

大正七年内地鹽ハ未曾有ノ凶作ニシテ著シキ減收トナリ一方ニハ時局ノ影響甚大ニシテ諸多ノ工業ハ勃興シ鹽ノ需要激増シ供給不足ヲ告ケ之ヲ補充ヲ要スルニ至レリ然ルニ殖民地ヨリ輸入セル天日製鹽ハ結晶粗大ニシテ色相不良ナルヨリ直ニ内地鹽ニ代用シ難シ此ニ於テ之ニ加工シ之ヲ再製シ細粒ノ白鹽ト爲シ一般消費者ノ嗜好ニ適合セシムコトヲ圖リ三田尻支局管内向島及下松ニ直營工場ヲ新設シ煎煮再製ト粉碎洗滌トヲ行フコトニ決シ一方鹽田製鹽業者ニ對シテハ稀薄鹹水ヲ利用シテ混和再製ヲ委託シ移輸入鹽取扱人ニ對シテハ移輸入鹽ノ加工ヲ委託シ其ノ急需ニ應ジタリ

再製加工高ハ大正七年度ニハ一千五百餘萬斤ヲ再製シタルノミニシテ翌八年度ニハ直營工場漸ク成リ再製加工ヲ併セ二億六千餘萬斤ニ達シタリ後青島再製鹽、臺灣煎煮鹽ノ輸入アリ且近年露領ニ於ケル漁業用ノ大部分カ通過貿易

鹽專賣 鹽ノ再製加工